



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭
「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに・つなぐ・みらいへ ～清流文化の創造～

2024年10月14日(月・祝)～11月24日(日)



「清流の国ぎふ」文化祭2024
公式ウェブサイト

連句の祭典

表彰式・講演・連句実作会

日時

令和6年10月27日(日)

12時30分～16時30分(予定)

会場

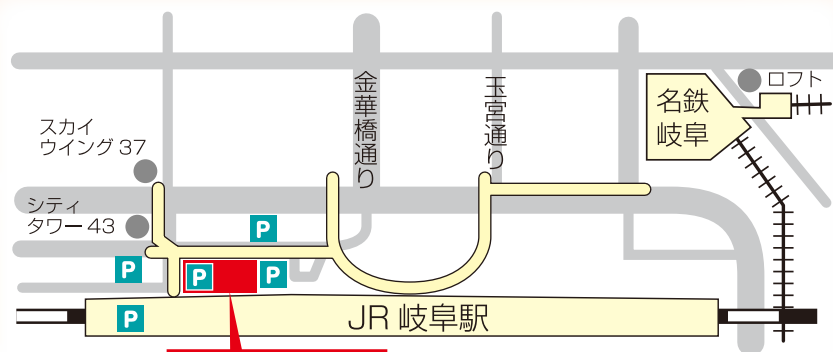
岐阜市文化産業交流センター

じゅうろくプラザ

岐阜市橋本町1丁目10-11 (JR岐阜駅隣接)

TEL 058-262-0150

交通アクセス



じゅうろくプラザ

JR岐阜駅(改札口)より徒歩2分
名鉄岐阜駅(改札口)より徒歩7分
岐阜各務原I.Cより車約15分
岐阜羽島I.Cより車約20分

「清流の国ぎふ」文化祭2024

連句の祭典

芭蕉・支考ゆかりの岐阜で一巻を

参加要項

期日 令和6年10月27日(日)

会場 じゅうろくプラザ
(岐阜市文化産業交流センター)
岐阜市橋本町1丁目10-11

主催 文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会、岐阜市、
「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会、一般社団法人日本連句協会、
岐阜県連句協会

連句の祭典

入場料無料 (事前申し込み不要)

※当日の実作会の参加には、参加料が必要です。

講演 (13:20~14:10)

- 12:00 受付 (会場: 2階ホール前)
- 12:30 開会式・表彰式
開会の辞
主催者挨拶
来賓挨拶
表彰
- 13:20~14:10 講演
講師 中森康之氏 (豊橋技術科学大学教授)
演題 芭蕉の句の詠み方 ~発句と連句~
- 14:20~16:05 実作会 (会場: 5階大会議室ほか)
(短歌行一折)
- 16:15~16:30 閉会式 (会場: 2階ホール)
開催県代表挨拶
次期開催県引継式
次期開催県代表挨拶

◎昼食の用意はありません。各自で済ませてからご参加ください。

参加申込方法

参加料 (1名につき2,000円) を振込みのうえ、別紙「連句の祭典 参加申込書」に必要事項を記入して、岐阜県連句協会事務局「連句の祭典」係まで、郵送してください。

(申込み期限: 令和6年8月30日 (金) 当日消印有効)

問合せ先

岐阜県連句協会事務局「連句の祭典」係
〒500-8415 岐阜市加納中広江町68番地 横山ビル 松尾一步 気付
TEL 090-3389-3067 E-mail: iti@matuo-shupan.com

一般社団法人 日本連句協会

ホームページ <https://renku-kyokai.net/>



演題 芭蕉の句の詠み方
~発句と連句~

講師 中森康之氏

講師紹介

中森 康之氏

なかもり やすゆき

〔現 職〕 豊橋技術科学大学教授
〔学 歴〕 神戸大学教育学部卒
同大学院教育学研究科修了
同大学院文化学研究科博士課程単位修得退学
博士 (文学) (関西学院大学)

〔専門分野〕 近世俳諧、特に俳論

〔主要テーマ〕 支考・蝶夢の俳論を解説し、それが芭蕉俳諧の本質を論じたものであることを明らかにした。現在、支考の最も重要な俳論である『俳諧十論』を解説し、『獅子吼』に「徹底解説! 支考『俳諧十論』」を連載中。並行して、芭蕉がどのように句を詠んでいたか (芭蕉俳諧の表現原理) の解明に取り組んでいる。

〔主要著書〕 『蝶夢全集 続』 (共編著 2022年 和泉書院 文部科学大臣賞)
『芭蕉の正統を継ぎしもの—支考と美濃派の研究』 (2018年 ぺりかん社)
『江戸の学問と文藝世界』 (共著 2018年 森話社)
『近世文学史研究第二巻 十八世紀の文学—学び・戯れ・繋がり—』 (共著 2017年 ぺりかん社)
『蝶夢全集』 (共編著 2013年 和泉書院)
『21世紀日本文学ガイドブック5 松尾芭蕉』 (共著 2017年 ひつじ書房)
『俳句教養講座第二巻 俳句の詩学・美学』 (共著 角川学芸出版 2009年)

